

丸森町の安定した高品質の 蜂蜜生産事業、ザンビアの蜂・蜜源調査へ ～JICA 事業で養蜂ビジネスを海外展開～

国際協力機構（JICA）は、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の2024年度公示にて、株式会社石塚養蜂園（宮城県丸森町、代表取締役 石塚武夫）が提案する「ザンビア国安定した高品質蜂蜜のサプライチェーンに係るニーズ確認調査」を採択しました。

★ザンビアのニーズ

ザンビアの養蜂農家は、養蜂管理技術が乏しく、蜂蜜収穫量は少量に留まっており、また販売販路を確保できていないという課題を抱えています。ザンビア畜産水産省大臣は「生産能力とインフラを充分活用することで、年間2万トンの蜂蜜を生産することが可能」と、ザンビアの農業ポテンシャルについて述べ、長期ビジョン2030にて農産物の輸出拡大促進の方針を掲げています。

★株式会社石塚養蜂園の技術により期待される事業効果

株式会社石塚養蜂園は、過去にJICAの「草の根技術協力事業」を通して、ザンビアの20戸以上の農家で蜂蜜販売を通じた収益向上を実現した実績があります。専用施設での蜂蜜生産による（1）安定したミツバチの供給（2）不純物の少ない品質の蜂蜜を作ることができる同社の強みを活かしたザンビアでの高品質蜂蜜の生産・販売ビジネスの確立を目指し、本調査にてニーズ確認調査を行います。

本ビジネスを通して、ザンビア養蜂農家へミツバチの供給技術の管理方法、販路の確保や拡大サポートをすることで、①現地養蜂農家の収益向上、②（調査を経て設立予定の）自社現地法人の雇用拡大や日本や海外向けの輸出促進、③森林保護に貢献します。

★調査内容

今回採択された「ザンビア国安定した高品質蜂蜜のサプライチェーンに係るニーズ確認調査」では、ザンビア北西部州、中央州などにおける養蜂の実態調査、蜜源調査、輸出を想定した制度調査やマーケティング調査を行い、初期のビジネスモデルを検証します。

★中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の2024年度公示では、全国で57件、うち東北地域では3件（株式会社石塚養蜂園〔宮城県〕、株式会社山本製作所〔山形県〕、奥山ポーリング株式会社、株式会社オサシ・テクノス共同企業体〔秋田県・高知県〕）が採択されました。

【本件に関する問い合わせ先／お申込み先】 JICA 東北 市民参加協力課 担当：吉岡・クワジオ

入力フォーム：<https://forms.office.com/r/HsCRWCg7pw>

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090



～本ビジネスが達成に貢献するSDGs～

